



コミュニティ・スクールが始まっています。

学校と地域で子供を育てる → 地域とともにある学校



コミュニティ・スクール(CS)は、学校と地域、保護者が連携し、『地域の子供を地域で育てる』ことを目指した制度です。日高町では、平成30年度に各中学校区と日高高校で学校運営協議会が設置されています。

日高町では、学校だけでなく、育成協活動や子ども会、少年団活動等様々な場面で子供たちは成長しています。また、登下校の見守りで安心して通学できる取組が行われています。さらに、PTA活動では、先生と保護者が協力して学びの環境づくりなどに取り組んでいます。

教育活動のサポート

スケート指導の手伝い(ひも結び)

和楽器指導の手伝い手伝

道徳外部講師(卒業した先輩の講話)



新体カテストの指導と補助(社会教育課と連携)

コミュニティ・スクール以外にも、従来から町内の皆さんには、社会体験や各施設訪問、一日防災学校等でお力をいただいています。



子どもたちの健全育成のために

あいさつ運動 (毎月10日)CS富川

廃品回収 育成協活動
パトロールボランティア



あなたとわたしいつもさわやかにつながろう!

《コミュニティ・スクールの意義》

文部科学省の資料より

学校には、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、教育の目的・目標の実現に必要な教育内容等の教科等横断的な視点での組み立て、実施状況の評価と改善、必要な人的・物的体制の確立などを通して、教育課程に基づく教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図る「カリキュラム・マネジメント」を確立することが求められている。また、急激な社会の変化に伴い、地域の課題は複雑化、多岐にわたって出ていくという、「主体的な意識」への転換が求められている。

学校と地域で育てようとする子どもの姿を共有し、地域創生に向かって一体的に取り組むことで「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を併せて実現可能にすることを目指し、「地域学校協働活動」との一体化を推進が図られている。

テーマ 『ひらく つなぐ はぐくむ』

～学校を地域にひらき、地域と学校とがつながり、共に子どもをはぐくむ～

学校を開く→学校理解の促進

地域とつながる→学校運営協議会

共に子どもをはぐくむ→子どもの姿を共有



日高町における学校教育では、外部講師の招聘など地域と学校が連携を図る取組が多彩に取り組まれる一方で、学校が抱える諸問題について閉鎖的な側面が見られる。特に、保護者や地域住民の協力を得ることで教育効果を高めることも想定できる。学校の状況を明らかにすることで、地域との結びつきができ、一緒に子どもを育てることができる。

《学校運営協議会》

役割

◎は必ず実施(日高町)

- ◎学校運営に関する承認する
- ◎学校評価を実施する
- 教育委員会への意見具申ができる

構成

20名以内(任期2年)

保護者・地域住民・校長・職員
学識経験者・関係行政機関職員
教育委員会が適当と認める者

組織

日高町は高校を含め5組織

義務→各中学校区で学校運営協議会
高校→日高高校で学校運営協議会

隔月で発行予定
次号は学校紹介